

山形県北部の地域を主要拠点として調査活動を行った。北村山地方・最上地方・庄内地方の各地域集落を結んで行われていた。集落と関連協力団体は次の通り。

村山地方 ・尾花沢市中島・行沢（宮沢翁塾）

最上地方 ・最上町満沢（みつざわ里の資源研究所）  
・金山町田茂沢（田茂沢道草ぶんこう）  
・舟形町長沢（若鮎交流塾）  
・戸沢村角川（角川里の自然環境学校）

庄内地方 ・庄内町清川（立谷沢川流域振興プロジェクト協議会）  
・鶴岡市三瀬（つるおかユースホステル）  
・鶴岡市関川（関川しな織共同組合）  
・鶴岡市松ヶ岡（松ヶ岡ネット）  
・酒田市松山土渕（プロジェクト外山）  
・酒田市中野俣（中野俣を元気にする会）  
・酒田市飛島（飛島漁協女性部法木支部）

上記のデータベースを作成しており、その一部（村山地方・行沢）のデータの一部抜粋をサンプルとして下記に添付する。

尾花沢市 中島・行沢 地域調査結果(調査カードの取りまとめ結果)

タイトル	キーワード	地域名	写真	説明
つき木		行沢		<p>まめがきの木が強い為 それを土台にしてと中からつき木をしてふつうの柿をそだてる</p>
馬頭観音		行沢		<p>昔は馬に雪をひっぱらせていた。農こう馬につかっていた馬が死んだ時に供養した ぐん馬</p>
かんもんの滝		行沢		<p>昔は関所のわきに滝があったから由来</p>

寺		行沢		寺が70年前くらいにやけて立て直した院という字つく寺は珍しい
石のおいなり様		行沢		石のほこら 商売繁盛の為
ぶなの木		行沢		ふなといつのは標高が高い所にしかげんせんしない不思議な事に底い所にぶながはえている

		行沢		
熊野神社		行沢		豊作祈願神社140年くらい建っている 通称おくまん様⇔子供の守り神
かす石		行沢		みずすい石 うえきをうえる かす石

なめざわのたて		行沢		<p>のべ沢城のみはり城 みはり城での しろをあげて てきがきた事をしたせ る</p>
石		行沢		<p>天皇陛下にもらった お祝いに</p>
こし油		行沢		<p>芽が春でてくる。それをてんぷらにし て食べる おたかぼっぽになる木 笹の一刀掘</p>

<p>なんてん</p>		<p>行沢</p>		<p>食べれない、白なんてん赤なんてんがある 木ではしをつくって食べると脳梗塞予防</p>
<p>冷泉</p>		<p>行沢</p>		<p>冷たい温泉がでている湯の花が冷泉と一緒にでてくる 昔子供のとき物などにきいたといわれる</p>
<p>こぶしの木</p>		<p>行沢</p>		<p>白い花が咲く 花が上むいて咲く時は夏の天気がよい・花が下むいて咲いてる時夏の天気が悪いといわれる。花が咲く時、ポンと音がする</p>

<p>畑にもみがら</p>				<p>もみを畑にまいているのはつちを肥やす 排水がよくなる為</p>
<p>とたんの なかは くさやね(かやぶき屋根)</p>				<p>トタンがなかったのので、くさやねにしているか がやがうすいのは雪でぬけるから 補修するためにあまりあつくしていない。下がかやでさが麦からでつくった</p>
<p>野菜</p>				<p>今は5種類 一年とおあとかぞえられないほどうえている</p>

<p>消火器</p>		<p>行沢</p>		<p>消火せんにドラムかんをかぶせた 雪たいさく</p>
<p>えんじの木</p>		<p>行沢</p>		<p>とこの間につかう柱(とこ柱)とても かたい木 細い部分は木づちに使う</p>
<p>石</p>		<p>行沢</p>		<p>ゆどの山を部落内でまつっている所</p>

<p>すず</p>		<p>行沢</p>		<p>出泉 飲める水</p>
<p>つうしょう(だんごの木)みずき</p>		<p>行沢</p>		<p>こけしの材料につかわれていた。えだが扇状にひろがる すりこぎにもなる 火災予防にもなる</p>
		<p>行沢</p>		

くぐりど		行沢		おじぎしないとはいっていけない
桜		行沢		年に2回(春、秋)桜が咲く木 今がちょうど見ごろ11月28日から30日(末日)
ほうの木		行沢		むかしの遊び 笛にしたり 葉をおめんにする

中国かき		行沢		三分の一あたりにみぞが入っている
小屋		行沢		石の上に柱がたつ小屋めのらしい 湿気よけの為高くする もみを貯蔵した
珍百景		行沢		合体木

おきな山		行沢		1075m その山に三回雪ふるとこの辺りに雪がふるといわれている
石づみ		行沢		やしきの土などがながされないようにくずれないようにしている
家		行沢		きそがなくて石の上に土台がのっている 築300年

くわの木		行沢		かいこのえさ くわのろう木
いだづき		行沢		しっけがあがらないように いたをしきつめていた 土間ではなく板になっている。こく物を貯蔵するのに都合よい
はり		行沢		家の一番上のささえる柱 昔、手であげた 直径45CM

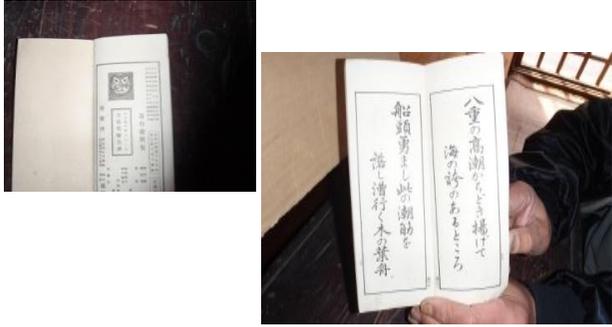
<p>なかがいをした 家</p>				<p>やすべ焼きをしたかまもと(焼き物をつくる所)(馬とか牛とかのなかがいにんをしてた</p>
<p>石うす</p>				<p>ぱったりで もみとかをついた物</p>
<p>キャラの木</p>				<p>300年 昔からの地主の家だから残っている</p>

うま市場跡		行沢		馬のせりをしていた所
かりん		行沢		かりん酒をつくったりする
まめがき		行沢		かきの味昔はおやつがわりに食べた 青い豆が熟すと食べられるようになる

<p>わさび</p>			 	<p>わさびの葉 ふすべ漬けにする う えるにはあう土と合わない土がある 葉も根も食べれる</p>
				
<p>そんしゃ(まぢま ん神社)</p>			 	<p>この地区で守っている神社 村祭り はそこで安全祈願、豊作祈願をおは らいする</p>

<p>いい事ある石</p>		<p>行沢</p>		<p>息をとめて三回まわるといい事がある</p>
<p>たたみ</p>		<p>行沢</p>		<p>昔のたたみふちかかりがあまりないけど丈夫にするため</p>
<p>教科書</p>		<p>行沢</p>		<p>明治や大正の教科書があった</p>

<p>たんす</p>		<p>行沢</p>		<p>たんすの中身がきぬの着物が入っていた きりたんす 普通の木よりきりの方がもえにくい</p>
		<p>行沢</p>		
<p>ごとうかっか</p>		<p>行沢</p>		<p>後藤関下え専興油(つばき油)ビンの口が、今と違っている</p>

<p>かんかん帽</p>		<p>行沢</p>		<p>すごいかたい帽子 昔、着物姿でかぶっていた。おしゃれ 日よけの為</p>
<p>弁当箱</p>		<p>行沢</p>		<p>まげわっぱ=弁当箱</p>
<p>書き方手本</p>		<p>行沢</p>		<p>国語の手本の本 尋常=小学生      高等=中学1.2年 きゅうせい中学      =高等 義務教育ではない 明治、      大正、昭和</p>

<p>ため池</p>		<p>行沢</p>		<p>なぜ、家の下に池があるか雪対策 (雪がとける)防火用水、こいの観賞 用 コイを食べた(非常食)</p>
	<p>土かべ</p>	<p>行沢</p>		<p>土かべにするには ワラをきって 足でふんでかべぬりをする 土かべ をつくれる人はいなくなっている 今 でいう 高気密 高断熱に準ずる</p>
		<p>行沢</p>		

	土ぞうくら	行沢	 	<p>つくれる人がいない くぎがつかわれていない 土かべ 30cm~40cm</p>
	ほたる	行沢		<p>夏にはほたるがいっぱいくる かわにながくいるとほたるがいる(たにしのなかま)</p>